

町勢要覧
2016



知名

光
り輝く未来が
「ここ」にある





みんなで創り

みんなで育む

みんなのまち

発刊に寄せて

知名町長 ひらや平安 まさもり正盛

知名町は鹿児島市から546km南にある沖永良部島の南西部に位置し、北は東シナ海、南は太平洋を隔てて沖縄本島が望めます。豊かな自然と長い歴史で築き上げた文化を大切に守り育て、うるおいとやすらぎのある町として発展してまいりました。

本町は基幹産業の農業を中心に、観光業も活気づいており、観光化されていない洞窟を探検する「ケイビング」は、大手旅行会社の「2016年夏人気急上昇の離島ランキング」で第1位になるなど注目を浴びています。

平成28年9月1日には、町制施行70周年の節目を迎え、これを機会にふるさと「ちな」への郷土愛と誇りをさらに深め、「みんなで創り みんなで育む みんなのまち」を基本理念とし、まちは町民一人ひとりが幸せな生活を演じる（送る）ためのステージとなるよう、夢と希望に溢れる「ちな」・「ずっと住み続けたい まちづくり」を推進していきます。

この町勢要覧が、本町への理解と次世代を担う若者への一助になれば幸いです。

Contents

知名町イラストマップ	3
Photo Gallery	5
自然・観光	7
公園・海岸	8
交流	9
農業	11
文化	13
特産品・工芸品	14
教育・生活・子育て・福祉	15
行政・議会	17
INFORMATION	18

知名町民憲章

- 一、わたくしたち知名町民は健康で明るい 楽しい町をつくりましょう。
- 二、わたくしたち知名町民は教養を高め 文化を進め ひらけ行く町をつくりましょう。
- 三、わたくしたち知名町民はきまりを守り 親切をつくし したわれる町をつくりましょう。
- 四、わたくしたち知名町民はよく働いて 豊かな住みよい町をつくりましょう。
- 五、わたくしたち知名町民は青少年を守り 伸び行く町をつくりましょう。

イラストマップ





知名町の概要

● 地勢・位置

知名町は、鹿児島市から南へ546kmにある沖永良部島の南西部に位置し、北は東シナ海、南は太平洋を隔てて沖縄本島が望めます。豊かな自然と長い歴史で築いた、うるおいとやすらぎのある町で、町内は、21の字（集落）で構成されています。

● 歴史

米軍統治中の昭和21年9月1日に町制を施行し、平成28年で70周年を迎えました。これまでの間、昭和28年の祖国復帰や昭和52年に発生し全島に壊滅的な被害をもたらした沖永良部台風の襲来など、さまざまな試練と苦難を乗り越え、今日の知名町が築き上げられてきました。

● 自然

島全体が石灰岩や石灰砂よりなる新生代の琉球層群に覆われ、東西に細長いひょうたん型の島です。最高標高は、町の中央に位置する大山の240mで、比較的平坦地が多く農地に恵まれています。

● 気候

気候は、温暖な亜熱帯性気候で、最高気温は33℃、最低気温は7℃で平均気温は22℃です。平均降水量は年間2,000mmを超え、6月の雨量が最も多く520mmです。また、奄美群島全域が台風の常襲地帯です。



沖永良部島
Okinoerabujima

鹿児島から飛行機で1時間10分
奄美から飛行機で35分
鹿児島から船で18時間
沖縄から船で5時間30分



東洋一の美しさと言われる昇竜洞



琉球舞踊

知名町マスコットキャラクター
ちなポー



魅力いっぱい
の知名町を
紹介します！



湧水で遊ぶ子どもたち



満天の星空 (田皆岬)



カクレクマノミ



緋寒桜とメジロ



ヒマワリ



ブルーゲンピリア



梅雨時期の花イジユと蝶



お魚市



絶景の田皆岬



子ガメのふ化



ウジジ浜から見る朝日



夏祭り恒例の舟こぎ競争

自然・観光

さわやか・知名
＜自然と人が共生するまちづくり＞

Caving

新たなアクティビティとして注目を浴びている「ケイビング」。沖永良部島は隆起サンゴ礁の島で、その地下には長い年月をかけて雨水が浸水してできた無数の洞窟があり、その中にはほかの地域にはない極めて魅力的な景色が広がっています。洞窟内を大きな地下河川が流れ、半身水に浸かりながら通路の奥へと足を進めると、目の前に広い空間が開け、美しい鍾乳石に飾られた「絶景」に出会うことができます。最近ではメディアに取り上げられることも多く、全国各地からケイビングを体験するためだけに来島する人も増えています。



銀水洞

Diving

知名町の海は、貴重な種類であるタイマイをはじめ、アカウミガメとアオウミガメの両方が共存する世界でも珍しい海域で有名ですが、ギンガメアジの大群やイソマグロの群れを目にできる確率も高く、数百匹ものギンガメアジが織りなす「トルネード」はまさに圧巻です。海の透明度は、世界の海を渡り歩くダイバーたちも絶賛するレベルです。また、例年1月～3月の間には、しぶきを上げ悠々と泳ぐザトウクジラの姿を目にすることもできます。



ギンガメアジの群れ

公園・海岸

フローラルパーク

児童遊具施設や9ホールあるパターゴルフ場、テニスコートがあります。また、芝生の多目的広場では、日常的にグラウンドゴルフが行われており、町民の健康づくり、憩いの場として利用されています。



沖泊海浜公園

沖永良部でも有数の広大な砂浜があり海水浴を楽しめます。また、キャンプ場も整備されており、炊事棟・シャワー室・トイレが設置されています。



屋子母海岸

白い砂浜と沖合のリーフの間にはサンゴ礁が広がり、水平線には与論島や沖縄本島が望めます。夕日がきれいなポイントでも有名です。



地域づくり

うるおい・知名
＜人とのつながりを大切にするまちづくり＞

酔庵塾

「サスティナブル（持続可能な）アイランドー自然と共に心豊かに楽しく暮らしていける島ー」を目指して、沖永良部島をつくる「5つのち・か・ら」をもとに月1回、知名町中央公民館や和泊町防災センターで勉強会が行われています。酔庵塾が主催する沖永良部シンポジウムは、今年で第7回を迎え、その取り組みについて認知する人が増えたことで、沖永良部島は「ローカル（地方）が主役になる社会」の先駆けとして島内外の人に知られるようになりました。また、子どもたちが参加することで、新たに「方言かるた」や「方言ラジオ体操」などが作られ、活動の幅は広がり続けています。これからは「えらぶしてる？」が、ご挨拶。



「サスティナブルな暮らしを目指して」
SUIANJUKU
酔庵塾

サスティナブルアイランドとは？

サスティナブル = 持続可能な

環境にやさしいエコな暮らしを心がけるのは素晴らしいことです。しかし、これまでの便利さを我慢して昔の生活に戻る必要はありません。自発的に無理せず続けられる方法で、沖永良部島を「豊かな自然に囲まれ、楽しい生活が持続可能な島 = サスティナブルアイランド」にすることを目指しています。



島の形を手で表したエラブポーズで集合写真



勉強会の様子

それぞれ好きな分野（12の部会）に分かれ具体的に「自然と共に心豊かに楽しく暮らしていける島」にするために話し合い、そこで出たアイデアを実践しています。



第7回沖永良部シンポジウム

島の文化を創り上げて来た5つのち・か・ら。沖永良部島の根底に流れる生活価値。これを現在の文化・文明の中にどう活かすことが出来るのか熱い議論が交わされました。



有識者によるパネルディスカッション



5つの分科会に分かれワークショップ



子どもたちは方言ラジオ体操を披露



沖永良部島をつくる
「5つのち・か・ら」

子どもや孫が大人になったときにも光り輝く美しい島であってほしい。共同体や自然を人とつなぎ直すような暮らし方を、もう一度この島でやらないといけな。『自足するということ』は我慢することではなく、とてもオシャレな新しい豊かさの切り口になる。本当の島の魅力を探して発信することで、開かれた島づくりに繋がるのではないだろうか。自足型の暮らしを目指すことで、ローカル（地方）が主役になる時代がやってくる。

塾長 石田秀輝 先生



ファングル塾

方言で「頑固者」を意味するファングル塾。平成25年瀬利覚字民により結成され、「小さく細くなる集落（少子化・人口減）に元気と輝きを！～高齢者にたまり場を」「孫たちの時代にも、なお良好な地域環境（自然、文化、伝統、人々の絆）が守られ、生き生きとした地域であることを」をスローガンに掲げ活動しています。主な活動としては、環境美化活動や青少年育成、町指定文化財「ジッキョヌ獅子」の保存・継承と活用、やさい市の開催、絶滅危惧種の「トーギョ（タイワンキンギョ）」の保護・増殖、「ジッキョまるごと散策ツアー」の実施などです。



ファングル塾の館

平成24年過疎集落等自立再生事業（総務省）を活用し、利用されてなかった旧消防車庫を獅子の保管庫として改修し、塾生の交流の場として活用しています。

トーギョ復活プロジェクト

トーギョの里（ピオトープ・池）を造成し、絶滅危惧種であるトーギョの増殖事業に取り組んでいます。育ったトーギョは島内の各小学校に配られ、教育に役立てられています。



名水保全活動



昔から、飲料水・農業用水・洗濯などのコミュニティの場として活用されてきたジッキョヌホー。平成20年には、平成の名水100選に選出されました。その保全に力を入れています。

やさい市

毎週水曜日に開催。「野菜づくりを楽しむとする字のおじい・おばあ」が育てた新鮮な野菜を格安で地域の人に販売されています。



松下村塾再 in 沖永良部

「卒業後に離島するであろう沖永良部高校生に、10年後再び島に戻るといふ選択肢の意味を気づかせ、その可能性を理解体験させる」ことを目標として、高校生たちに沖永良部島に生まれたことを卒業前に考えてみる場として開かれた松下村塾再。そこでは高校生たちが、未来の沖永良部島の可能性について考え、農業や観光、エネルギーのビジネスプランの提案や新しい制服づくりについて話し合っています。



真剣に島の未来について考えたワークショップ



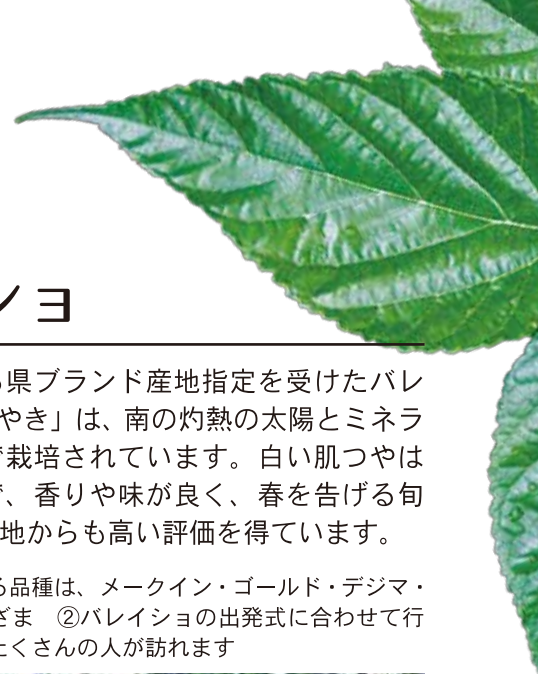
無農薬のバレイショ栽培にチャレンジする高校生。微生物の多様性測定用の土を採取し、畑の調査を行いました。



第7回沖永良部シンポジウムにて島で行う新しいビジネスプランの発表を行いました。

農業

はっらっ・知名
〈豊かな明日をつくるまちづくり〉



バレイショ

本町で収穫される県ブランド産地指定を受けたバレイショ「春のささやき」は、南の灼熱の太陽とミネラルを含んだ赤土で栽培されています。白い肌つやはきめ細かく綺麗で、香りや味が良く、春を告げる旬の野菜として消費地からも高い評価を得ています。

①島内で作られている品種は、メイクイン・ゴールド・デジマ・ニシユタカなどさまざま ②バレイショの出発式に合わせて行われるイベントにはたくさんの人が訪れます



葉たばこ

本町の葉たばこは、単位収量、品質面でも高水準にあり、農家にとっては貴重な高収益作物です。現在では、消毒作業や摘み取り作業も機械で行えるようになり、1戸当たりの栽培面積も拡大しています。

③機械化が進んだことで2人で同時に管理作業ができ、作業効率が大幅に向上 ④収穫した葉たばこを生産者が共同で乾燥釜へ詰める様子



さとうきび

さとうきびの栽培面積は町内の作物栽培面積の約50%と最も多く、地域経済を支える重要な基幹作物として位置づけられており、さとうきびを中心に輸送野菜、花き、肉用牛、葉たばこ等と組み合わせた輪作体系の推進により、生産性の高い農業生産活動が展開されています。

⑤次の植え付けの苗にするために手作業で行っている刈り取り作業 ⑥ハーベスタによる刈り取り作業



シマ桑

沖永良部島では、かつては盛んに養蚕が行われていましたが、昭和40年代を境に衰退しました。近年さまざまな研究により、桑の葉は私たちの健康維持に有効な成分を持つことが分かってきました。本町では、平成17年頃から大学有識者等によりシマ桑の活用について調査及び報告会が行われました。そこで、シマ桑の成分に着目し6次産業化を図り、新たな産業振興や雇用の創出、町民の健康促進を目的に、シマ桑を粉末にする「えらぶ特産品加工場」を平成24年度に整備しました。

⑦シマ桑を活用した新たな産業振興を図るため、平成23年度より苗の栽培を開始し、24年度より桑畑にて本格的な栽培を開始しました ⑧町内でも桑の効能が広く周知され、桑の粉末をお菓子やそばに混ぜたりするなど、新しい特産品が積極的に作られています



畜産

近年、一戸あたりの飼養頭数が伸びてきており規模の拡大化が図られています。また、本町の特徴として、四季を問わず周年生産される粗飼料により腹作りのできた子牛の生産を行っています。



子牛の価格が高値で推移が続いている肉用牛

果樹

7月から8月にかけて実りを迎えるマンゴーは、樹上で完熟したものが出荷されています。糖度と香りが非常に高いのが特徴で、大変おいしいマンゴーです。また、島バナナはその栄養価の高さから島外でも注目を集めており、高値で取引されています。



果汁あふれるマンゴー

酸味と甘さが絶妙な島バナナ

花き

本町は温暖な気候を生かし、グラジオラス、テッポウユリ、ソリダゴを主体に冬から春の代表的な切り花産地として、消費地から高い評価を得ています。なかでもグラジオラスは生産量・品質ともに日本一といわれており種類も豊富です。

左側から、テッポウユリ、グラジオラス、ソリダゴ



文化 <先祖伝来の宝物>



瀬利覚獅子舞

伝統芸能

厄払いや豊年祈願として踊られている瀬利覚字の獅子舞や祝いの座などで勇ましく軽快に踊られる正名ヤッコ踊り、江戸時代の終わり頃に鹿児島歌をもとに創られたとされている西目イシシハカマ踊り、ノボリや太鼓などを使って踊る久志検チンカラ踊りが郷土芸能として伝承されています。また、県の無形民俗文化財である上平川の大蛇踊りは、ほかの芸能と違い、一貫した筋書のある劇仕立てになっているのが特徴で、十数メートルの3本の竿に大蛇を吊り下げて操作します。大蛇が空中高く乱舞する場面はまさに圧巻です。



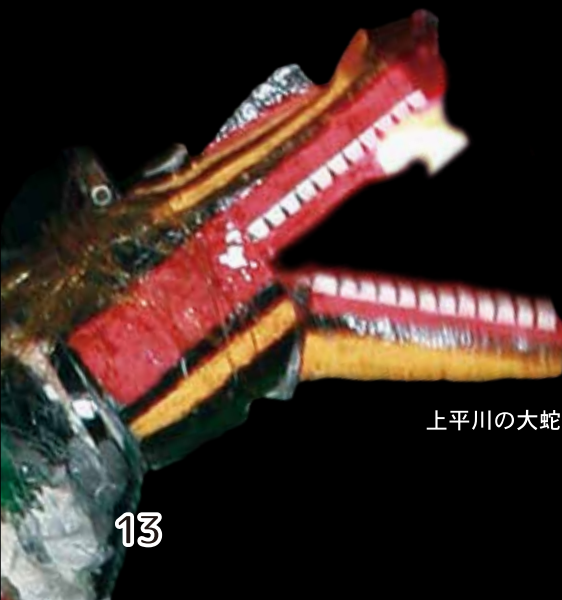
瀬利覚獅子舞



正名ヤッコ踊り



西目イシシハカマ踊り



上平川の大蛇



上平川大蛇踊り



久志検チンカラ踊り

特産品・工芸品 <自然が育む逸品>

黒糖焼酎

奄美群島だけに製造が認められている黒糖焼酎は、ブランデーやウィスキーと同じ蒸留酒であるため、透明で糖分ゼロのお酒です。独特でありながらさっぱりとした風味で口当たりもよく、ロックや水割りなどさまざまな飲み方で親しまれています。町内には2か所の酒造会社があり、地元のみならず島外にも多く出荷されています。



原田酒造



新納酒造

きくらげ

さとうきびのバカス（絞るかす）を菌床に無農薬で栽培されたきくらげで、ほのかに甘い香りがあり、肉厚でコリコリした食感。ビタミンやミネラル、食物繊維が豊富です。



芭蕉布

沖永良部に自生する糸芭蕉の幹から繊維を取り、糸を紡いで織り上げる伝統工芸品「芭蕉布」。軽くてさらりとした肌触りが特徴で、亜熱帯の厳しい暑さのなかでも快適に過ごせることから、沖永良部島で古くから愛用されてきました。町内で唯一芭蕉布製品を製作している沖永良部芭蕉布工房では、島の草木のみを染料として使用し、昔ながらの方法で、芭蕉布を織り上げています。着物や帯だけでなく、素材の特性を活かしたシャツや帽子などの小物も製作し、芭蕉布の新たな魅力を追及しています。



気の遠くなるような手間隙をかけて芭蕉布は出来上がります。無農薬で育てた3年ものの糸芭蕉を冬場に切り倒し、その幹を剥いて繊維を取り出します。その繊維を職人の手先の感覚のみで均一の太さの糸に撚り、はた織機で少しずつ織り上げます。沖永良部芭蕉布工房では、いつもカタンカタンとリズムカルなはた織りの音が聞こえてきます。

たくましく生きる 人間づくり

「教育的・文化的・社会的実態と町内各学校の実情に立った知名町の子ども像」を目標に、学校・家庭・地域社会の連携と協力をもとに一人ひとりを大切に個性を生かす教育を実践しています。自ら学び考える力や、生命を尊重する心、社会の一員としての自覚や思いやり、正義感等人間としての基本的な倫理感など「互いにかがやき・ひびき合い・たくましく生きる力」を備えた児童生徒の育成に努めています。



教育



1 普段の学校での授業では体験できないような様々な実験が行われた「青少年のための科学の祭典 in 知名」2 毎年地域の人たちと田植えを行っている下平川小学校生徒 3 夏休みの楽しい体験となった図書館でのお泊まり 4 子どもたちが工夫を凝らして発表した「子ども芸能祭」

1 自衛隊、警察、消防署合同による総合防災訓練 2 消防技術の向上を目指す「消防団操法大会」では、平成 28 年に大島郡で優勝し県大会へ出場 3 交通安全意識の高揚を図ることを目的に行われている交通安全パレード 4 消防出初式では幼年消防団も演技を披露



生活

安心・安全・快適 なまちづくり

本町は台風の常襲地帯であることから、町民の生命・財産を災害から守るため、普段から消防団組織の強化や自主防災活動の推進を図るとともに、防災行政無線のデジタル化により、非常時の連絡体制の整備・拡充に取り組んでいます。また、各種団体の協力のもと、日頃から地域を挙げて子どもたちに対する「見守り・声掛け」を行っており、安心・安全なまちづくりに取り組んでいます。



安心して子どもを産み 育てる環境づくり

安心して子どもを産み、健やかに育てることができるよう、保健センターでは、妊娠から産後までの母子管理を徹底し、望ましい妊娠・育児の普及を図っています。また、子ども医療費や予防接種費用の助成拡充も合わせて行っています。さらに、子育てを総合的に支援するために幼保一元化を進めており、田皆認定こども園「きらきら」の開設に続き、平成 29 年度には、知名認定子ども園「すまいる」が開設されます。



1 田皆認定こども園「きらきら」で元気に遊ぶ子どもたち 2 子育て広場で行われているミニ運動会 3 乳幼児を対象にした歯科検診 4 旧住吉幼稚園に開設されたリハビリ機能充実型児童デイ発達支援事業所「ぼてと」

子育て



福祉



ともに支え合う 福祉の充実

高齢者が、住み慣れた地域でいつまでも健やかに生活できるように、心身の健康の維持や生活の安定のため、配食サービスや地域包括支援センターにおける体操教室などの事業に取り組んでいます。また、町立の養護老人ホーム「長寿園」(定員 50 名)では、軽スポーツ大会や誕生会、保育園児との交流会などをおし、入所者は生きがいのある楽しい生活を過ごしています。



1 生涯スポーツ活動として盛んに行われているグラウンドゴルフ 2 介護予防・健康維持をめざした地域包括支援センターの体操教室 3 町立養護老人ホーム「長寿園」の夏祭り 4 90 歳、100 歳、101 歳以上になられた方への表敬訪問

行政・議会

みすえる・知名

<新時代を構築するまちづくり>

行政

「みんなで創り みんなで育む みんなのまち」を基本理念に、「ずっと住み続けたい 誇りと自信溢れるまちだから」をスローガンとして、7つの施策の柱を掲げ、町制の発展に努めています。目指すまちづくりを進めるために、平成27年度、「知名町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

【しごとの創出】若い世代の雇用・就労環境の確保、地域ブランドの強化による地域産業の活性化。また、観光・交流によるまちの賑わいの創出に取り組んでいます。

【ひとの創生】結婚・出産・子育て環境の充実を図ることを目的として、出会いの場づくりや子育ての不安を和らげるための施策に取り組んでいます。安らぎと憩いの定住環境を整えることで子育て世代、若者を中心とした移住・定住を促進します。

【まちの創生】安全・安心で快適な暮らしを支えるまちづくりに取り組みます。



教育長
豊島 実文

町長
平安 正盛

副町長
宗岡 与名彦



役場本庁舎



あしびの郷・ちな

議会

知名町議会は、12人の議員で構成され、年4回の定例会のほか、必要に応じて臨時議会が開催されます。また、各種案件について調査・審議が万全に行われるよう総務文教、経済建設の2つの常任委員会が設置されており、町の施策や条例・予算・陳情などを審議し、町民の負託に応えた活動を行っています。その他、議員と語る会や各種ボランティア作業など、議会独自の活動も行っています。



議長
名間 武忠



副議長
平 秀徳



INFORMATION



町章

昭和31年6月23日制定。
「知名」の文字と伝統ある「エラブユリの花」を図案化したものです。

町花 (ハイビスカス)

昭和57年2月11日制定。
南国のイメージをまとったハイビスカスは、街路にも植栽され親しまれています。



町木 (ガジュマル)

昭和57年2月11日制定。
子どもの遊び場や住民の休憩の場として親しまれ、防風林としても利用されています。

マスコットキャラクター

ちなボー

平成27年8月1日誕生。
知名町の豊かな自然から生まれた妖精で、頭にはハイビスカスをつけています。



知名町町歌

吉沢 亮 作詞
赤地 信 作曲

1. 南の風の 吹くところ
みどり色濃き 大山の
揺がぬ姿 仰ぎつつ
起たん知名町 同胞よ
2. 白浜港に 波すさび
暗川の水 冷ゆる時
遠き祖先の 拓きたる
豊けき幸を 思うかな
3. 祖先の偉業 受けつぎて
振興の意気 燃えてたつ
我等知名町 諸共に
永久の栄を 祈らばや

知名町フローラル音頭

有川 廣良 作詞
吉俣 良 作曲

1. ハアー わが町知名は 大山の すその広がる 花の町
老いも若きも 健やかに 生きる喜び 知名の町 知名の町
サアサ〜踊るよ フローラル音頭
2. ハアー 東洋一の 昇竜洞 サンゴ広がる 青い海
自百合かおる 楽天地 心豊かな 知名の町 知名の町
サアサ〜踊るよ フローラル音頭
3. ハアー ウジジの浜に 陽が昇り 映ゆるみどりの 結いの町
みんな明るく 朗らかに 若いいぶきの 知名の町 知名の町
サアサ〜踊るよ フローラル音頭
4. ハアー 町制施行 七十年 光る偉業を 受けつぎて
今ぞ励まん 町民と 夢があふれる 知名の町 知名の町
サアサ〜踊るよ フローラル音頭



町勢要覧

2016

発行年月
平成28年11月

編集発行
知名町

〒891-9295 鹿児島県大島郡知名町知名 307
TEL. 0997-93-3111(代) FAX. 0997-93-4103
URL <http://www.town.china.lg.jp>